

8月21日から、二学期がスタートしました。二学期は、子ども達にとって大切な学期であり、全ての子が成長を実感できる時期です。つつじが丘小学校全職員で頑張っていきますので、保護者・地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

本校は、10月からコミュニティ・スクール（略称CS）の指定を受け、さらなる教育活動の充実を図っていきます。このCSの目的は、「学校・家庭・地域が『目指す子ども像』を共有し、その実現に向けて、連携・協働した活動を促進する」ことにあります。つつじが丘小学校・つつじ地域においては、つつじの会やつつじっ子クラブ、セーフティネットつつじ、学習支援ボランティアなど、これまでも様々な組織と連携して、地域の子ども達を育ててきました。それなのになぜ、わざわざCSを始めなければならないのでしょうか？

7月に「つつじの会合同会議」を開催した時に、参加者で「令和の時代～これからの学校・保護者・地域の連携について」考え話し合う場を設けました。それをまとめると

- 課題・不安 「子どもが少なくなる」「高齢者が多くなる」ことから、今までしていた活動が維持・継続できるだろうか。
- 現状 「見守り等の活動が、さらに盛んになればいい」「子どものあいさつやお礼の言葉がうれしい」という発言があった。大人の「優しさ」子どもの「感謝」など、気持ちが通じ合うことがやりがいにつながる事が確認された。
- ◎今後に向け もっと「つながり」をいろんな人達に、多様な場面に広げてより深まればいい。

これらの話し合いから、CSへの期待として、

- ・子どもの夢の実現を応援する
- ・地域の活性化を進める
- ・学校の教育活動充実を図ることが、浮かび上がりました。

今ある組織をそのまま活かしながら、10年先・20年先を見据えた持続可能な地域社会の実現に向けて取組をすすめることが、つつじが丘地域のコミュニティ・スクールの目指すところです。

